

## 「農業経営・就農支援センター開所式」知事メッセージ

本日は、福島県農業経営・就農支援センター開所式にお集まりいただき、誠にありがとうございます。

本県農業を取り巻く環境は、頻発・激甚化する自然災害や長引く新型コロナウイルス感染症の影響、原油価格・物価高騰など、依然として厳しい状況にあります。こうした中、令和4年度に、本県で新たに就農された方は、野菜や果樹など園芸作物を中心に若い世代が伸び、過去最多となる三百三十四名を記録いたしました。

これは多くの方が、本県での就農に魅力を感じていただいた結果であり、非常に心強く感じております。

こうした流れをより確かなものとし、新たに県内で就農された方々の定着や、その経営発展を力強く支援するため、県と福島県農業協同組合中央会の管野会長を始めとした関係団体の皆様との連携の下、本センターを開所いたしました。

このセンターは、県と三つの農業団体の職員が常駐する総合相談窓口であり、就農を希望する方や、現在農業を営んでおられる皆様からの相談をワンストップでお受けする「福島ならではの体制」となっております。

就農を希望されている方には、準備段階や就農時のサポートだけでなく、その後の経営安定化から経営発展まで、必要な支援を継続的に行っていくとともに、地域農業を担っておられる皆様からの相談に対しても、経営改善や法人化、経営の継承など、専門知識を持ったスタッフが丁寧に対応いたします。

このように、福島県には、就農・定着から経営発展までの一貫した支援体制が構築されておりますので、現在、農業をどこで始めようかと迷われている皆様には、是非、本県での就農を御検討いただければと思います。センターのスタッフが一丸となって、皆さんの就農を応援させていただきます。

また、本県には、こうした手厚い支援体制だけでなく、地域ごとに異なる豊かな自然環境があり、果樹や野菜、花きなど、それぞれの地域で様々な作物を生産することができます。

県といたしましては、こうした福島の良さをいかして、更に農業が発展するよう、「『もうかる』『誇れる』共に創るふくしまの農林水産業と農山漁村」を基本目標に掲げ、生産力の強化と、福島ならではのブランド力強化や六次化、有機農業などを推進しております。福島の地で農業に携わり、熱い思いを持ってこの地でチャレンジする皆さんを、今後も全力でサポートしてまいります。

(945字)